

四ツ角区画整理と第二庁舎整備について

金子 渡 議員

質問 総事業費127億円、平成23年街区完成予定で、四ツ角区画整理は26年に事業完了できるのか。

答弁 補助金等が減少傾向にあり、大変厳しい状況ですが、予定どおりの完了を目指して努力したい。

質問 四ツ角環状線の一方通行は不便ではないかという

う声が出ている。見直しは。答弁 一方通行の見直しを含め、地元対策協議会等と協議し慎重に進めたい。質問 さとり跡地が19年1月に競売になる。市が取得して活用する考えは。答弁 現時点での利活用の目的がないことと財政状況

を考慮すると大変難しい。

第二庁舎の活用方法は

質問 第二庁舎の一階部分はどのように活用するのか。

答弁 市民の利便性の確保と健康管理を推進する施策として、コミュニティ(公民館)機能と保健機能の整備について検討しています。

質問 公民館の機能が移転するのなら、渋川公民館の保存はどうするのか。

答弁 庁内組織である検討委員会、保存するかしないかについて検討中です。

質問 ジャスコの第二庁舎に9億円かけて、なぜ1億円のさとりが買えないのか。

答弁 利用目的が明確でないものについて、購入することはできません。

四ツ角活性化のビジョンは

質問 市長は区画整理後の四ツ角を、どのようなまちにしたいと考えているのか。

答弁 四ツ角を多くの方に散策していただくことが活性化につながり、まちの資源の活用と住民の考え方で中心市街地は活性化します。



区画整理が進む四ツ角周辺

「自治会は困っていない」？町名表示問題で市長にただす

阿久澤 咏 議員

質問 町名表示問題の解決は、第一に「大字渋川」表示は元に戻し、平行して抜本的な方向を探っていくべきだ。2回の町名表示の会議が開かれたが通称町名に戻すという点で、論議、進展はあったのか。

答弁 第1回は町名表示に関する概要説明を行い、第2回は事務局が示した4案を基に意見交換を行ったが、まだ審議途中です。

質問 「大字」表示決定は合併前の駆け込み決定だった。その後、日常生活での支障がはつきりしてきた。困っている市民の切実な要求になぜ応えない。

答弁 自治会連合会の臨時

総会や合併協議の中で確認された事項であり、渋川で納得している人もいます。

質問 旧渋川地域の自治会長は、「大字」表示の保留、住民合意の新住所を求めて要望書や請願書を提出して通称町名使用を求めている。

答弁 市民の皆さんの要望にお答えするために、町名表示プロジェクトを設置してご審議いただいています。

質問 市長は、自治会は困っていない、困ったという声を市民から聞かないという

そぶいている。市政運営のパートナーは住民と代表の自治会長だ。そこまで住民の声を無視するのか。

答弁 自治会の範囲は変えていません。町名は合併した一体化のなかで市全体を見通して考えてほしい。

質問 市長は、通称町名は市民に周知すべきだ。

答弁 大字としての渋川は合併協議の中で決まってきました。通称町名を改めて周知する考えはありません。



寄居町会館前の交差点

子供の医療費を中学校卒業まで無料に

加藤 幸子 議員

質問 子供は病気にかかりやすく重症化しやすい。早期発見・早期治療が大切で、中学校卒業までの医療費の無料化は子育て支援の大きな力になります。中之条町ですでに実現しています。渋川市でも医療費の無料化を前進させるべきです。

答弁 本市の助成範囲、小

合併後5年以内に保育料平均を国基準の概ね60%に改正しますが、保護者の負担などを考え、2段階での改正を基本に進めます。

質問 第2子の保育料の軽減や第3子の無料制度は就学前の子供が3人いなければ摘要にならない。小学校までの摘要範囲の拡大を。

答弁 現行保育料の3歳未満児童軽減制度や2人目の軽減制度、また、3人目以降の無料制度については引き続き継続する方針です。

学童保育所の充実を

質問 全小学校ごとに学童保育所の設置を。橋小は来年4月から空き施設を利用し開所できないか。子持地区、南雲小の学童保育所は空き幼稚園の利用を。運営が困難になる施設への市単独助成の増額を。

答弁 橋小学校区は平成20年度開設に向け準備を進めています。また、少人数学童クラブの適正運営のため市の補助規定の見直しを検討しています。



学童保育所で過ごす子供たち

焼却灰はその日のうちに覆土を行っています。

質問 小野上処分場の再々延長契約期限は平成19年で、来年に迫っている。

主要構成自治体である本市として平成20年からの最終処分場はどこに求めるのか。

答弁 現在の小野上処分場は、平成19年度末で覚書の埋立期間が終了しますが、平成17年度末で残容量率約29%です。

では、これらの状況も踏まえ、現在、渋川地区広域組合の正副管理者会議において、協議を重ねています。

質問 再々再延長となった場合、住民に早急に伝え理解を得る努力をされるのか。

また、広域組合から従来どおり地域の振興費、迷惑料が交付されるのか。

答弁 現在、協議を重ねていますが、地域への対応については、過去の経緯を踏まえ、誠意をもって対応していきたいと考えます。



小野上処分場

質問 平成5年3月から5年契約で供用が始まり(平成10年に5年延長、さらに平成15年に5年延長)現在に至っている。

その埋立処理状況と今までの埋立量は。

答弁 小野上処分場については、埋立地面積1万5000㎡、埋立容量9万500

渋川地区広域圏清掃センター 小野上処分場について

角田 雅保 議員

00㎡で、平成18年3月末現在の処理状況は、埋立容量累計6万7365㎡、残容量2万7635㎡の残容量率約29%です。

処分場は、遮水シートを張り地下浸透しない構造で、排水は水処理後放流され、定期的に水質検査をしております。規制基準値以下です。